

授業科目 日常生活活動学 II

【担当教員名】 小林 量作、非常勤講師		対象学年	3	対象学科	理学
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	◎	○	○	
【一般目標：G10】 「日常生活活動学 I」の知識を基に疾患別 ADL を学習し、その知識から事例を通して ADL 評価の選択・プログラム立案ができる。					
【行動目標：SBO】					
1. 各疾患の ADL を学習する。					
2. 模擬事例の評価を選択できる。					
3. 模擬事例のプログラムを立案ができる。					
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	脊髄損傷の ADL	1	講義、担当：小林 量作		
2	関節リウマチの ADL	1	講義、担当：小林 量作		
3	下肢切断の ADL	1	講義、担当：小林 量作		
4	在宅高齢者の ADL	1	講義、担当：小林 量作		
5	片麻痺の ADL	2.3	講義（安達）、担当：非常勤講師 他		
6	片麻痺の ADL 2	2.3	講義（安達）、担当：非常勤講師 他		
7	大腿骨近位部骨折の ADL	2.3	講義（細野）、担当：非常勤講師 他		
8	大腿骨近位部骨折の ADL 2	2.3	講義（細野）、担当：非常勤講師 他		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		日常生活活動学・生活環境学（第4版）	鶴見隆正編	医学書院	2012・5,670円
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席、レポート、期末試験			【履修上の留意点】		